

■撮影ドキュメント

表現者のプロとして1人2役の撮影に取り組む志尊淳さん

撮影は、“紫外線から守る志尊“ブロックからスタート。ダブルのスーツでビシッと決まった姿で登場した志尊さんは、監督に「ちょっと強めの方がいいですか?」「今、ここを見ているんですけど、目線は大丈夫ですか?」など、ちょっとしたセリフ回しや目線といった細かい部分について質問。**1人2役のお芝居で掛け合う相手がないため、完成したものをイメージしながら細心の注意を払って演じていました。**

また、背景に☒のCGが登場するシーンでは、「どんな画になりますか?」と出来上がりのイメージを監督と共有した後、監督に「手の角度はこっちの方がいいかもしれません」と提案。さらに、演じているキャラクターのセリフの背景にある感情や人となりを自分なりに掘り下げた上で、「ここは目線を外してもいいですか?」「左手はポケットに入れてもいいですか?」と自ら芝居をプレゼンするなど、**表現者として真っ直ぐに芝居に向き合う姿勢を見せていました。**

スーツからラフな開襟シャツに着替えて臨んだ“潤いの志尊“ブロックの撮影では、先ほどの“紫外線から守る志尊“とは打って変わって、笑顔がこぼれる明るく軽快なキャラクターを披露。**髪形や格好だけでなく、顔つきから立ち姿までが変わっており、まるで別人!**コミカルな動きからにじみ出る少年っぽさが愛嬌を増幅させていました。2人のキャラクターのギャップにも注目です。

加えて、表情やアクションで魅せる演技が圧巻。「(紫外線一が話している間は)ずっと目線が向いてしまうんですけど、大丈夫ですか?」と細かい部分にも気を配って大切に演じており、**志尊さんの役者としての演技の幅の広さと表現力の豊かさが感じられた撮影となりました。**